

今月は、J-SHINE 資格取得と並行して地元（横浜市）の小学校に問い合わせ、その後数校の小学校で英語サポーターとして外国語活動に参加、担任の先生方とお互いの立場、役割を明確にし、尊重し合いながらチームティーチングを行い、一人一人異なる子どもたちの丁寧なサポートを心掛けながら支援活動をされている沼田さんの実践報告です。



沼田貴世実さん

2010年に指導者資格を取得し、横浜市内の小学校で英語支援活動を開始。民間の英会話スクールで講師を務める傍ら、現在小学校2校で活動中。

2016年5月号

J-SHINE 通信

■ J-SHINE 資格、上級指導者資格取得のきっかけ

私は、英語を教えたいという夢を長年抱き続けていました。そして、自分の好きな英語を使って、地域にも貢献したいと思っていました。そんな折に偶然知ったのが、小学校での英語の必修化でした。また、時を同じくして小学校英語指導者としてご活躍中の方が紹介されているテレビ番組を見、「これだ!」と思い、夢を実現させる第一歩として、早速 J-SHINE 資格取得を目指しました。そして、J-SHINE に願書を提出後すぐに、地元（横浜市）の小学校数校に連絡し、英語サポーター（横浜市の呼称）の需要があるかどうかを問い合わせました。その後、数校からご連絡を頂き、2010 年度より外国語活動に参加することになりました。

■ 現在の活動状況

私は、現在横浜市内の小学校2校で活動しています。活動日数は一校につき、月平均2回で、一回の訪問につき、大抵3クラスで活動を行います。活動する学年は全学年で、一活動日に同じ学年のみを担当する事もあれば、クラス毎に違う学年を担当する事もあります。活動指導案は、窓口である外国語活動担当の先生から前もって頂きますが、学校現場は慌ただしいのが常で、事前に各担任の先生と活動に必要な準備や打ち合わせが十分にできるとは限りません。その為、当日スムーズに活動が行えるよう、外国語活動担当の先生方にご協力を頂いています。

私は英語サポーターとして、学級担任の先生方をサポートしています。活動の流れは、小学校が用意した指導案に沿って、その日学習する単語や文章の導入及び発音練習をし、ゲームやアクティビティーのデモンストレーション及び方法の説明を英語

で行い、実際に児童が学習した英語を使ってコミュニケーションを取り合っているかをモニターしながら、児童の中に入って一人一人をサポートする、というものです。

さて、当の子ども達の様子はどうかというと、多くの児童は外国語活動を楽しんでいるようで、校内で私の姿を見かけると、「こんにちは」ではなく、“Hello!” と声をかけてくれます。また、外国語活動＝ゲームができる時間と思っている児童も多く、ゲームの時は盛り上がります。時には、勝ち負けから喧嘩に発展したり、涙ぐむ児童も現れるほどです。活動は英語で行う為、児童は理解しようと努力します。とりわけ、低、中学年の児童は興味を持って、積極的に活動に参加しています。中には、英語が苦手であったり、コミュニケーションを取ることに消極的な児童も勿論いますが、そういった児童にはより配慮をしながら担任の先生方と共に支援していきます。

クラス運営のみならず児童のケアの点からも、活動に担任の先生の存在は不可欠です。教室ではお互いの立場、役割を明確にし、尊重し合いながらチームティーチングを行っています。通常、冒頭での活動の目当て、活動中の理解度の確認、各ゲームやアクティビティーの方法やルールの説明、そして、まとめは担任の先生が日本語で行います。サポーターである私は、児童に英語の音に慣れ親しんでもらえるよう、正確な発音をする事を心掛けています。担任の先生方とは活動時間直前に指導内容を確認する事が殆どですが、一度でも活動を一緒すると、お互いに親近感が生まれ、その次からはよりスムーズ且つ和やかに活動が行えます。そして、授業後には、お互いに感想を述べ合い、改善点があれば修正し、次の活動に活かすようにしています。活動指導案には単元の目当てが掲げられており、それを達成できるよう、原案に改良が加えられていきます。私が活動している小学校では、サポーターの意見や感想も歓迎して下さい、アクティビティーやゲームに関する提案にも柔軟に対応



して下さいます。その結果、自分のアイデアが盛り込まれた活動案で活動が上手く行った時は達成感が得られ、自信にも繋がります。そして、児童から楽しかったという言葉や感謝の気持ちを伝えられた時は、本当に嬉しく、やり甲斐を感じる瞬間でもあります。

■ 今後の展望、課題、目標

2020年の高学年の英語教科化に伴い、中学校から本格的に始まる英語への導入の場に携わる人材、という意味で、小学校英語指導者の需要は益々増え、期待される役割も更に大きくなるでしょう。私の今後の課題は、苦手意識のある児童が英語嫌いにならないよう、より分かり易く、楽しく、親しみ易い活動を心掛ける事です。最後に上級指導者を目指す方々へ、以下の言葉を贈りたいと思います。活動を成功に導く為には、まず外国語活動の目標、「英語を使って、友達や先生とのコミュニケーションを楽しむ。」を常に念頭に置く事が大切だと思います。そして、どのような状況にも臨機応変に対応できる順応性を養い、熱意と笑顔を絶やさずに児童に接する事を心掛けていく必要があると思います。小学校での活動にはハプニングやチャレンジがつきものですが、様々な児童との触れ合い、そして地域に奉仕する事から得られる喜びは、皆様にとって他では得難い貴重な宝となることでしょう。

* J-SHINE 通信 Web ページ

この2016年5月号をはじめ、過去に発行したJ-SHINE 通信はすべてJ-SHINEのWebサイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>